

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 43 号	氏名	福元 浩徳
学位審査委員	主査 畑山 範 副査 藤田 佳平衛 副査 河野 功 副査 石原 淳		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、医薬開発に繋がる天然物合成の研究分野で注目を集めているエリスリナルカロイドの効率的な一般合成法を開発しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>エリスリナルカロイドに共通する構造単位であるテトラヒドロインドール部分の構築にジエンイン化合物のドミノエンインメタセシス反応を用いるルートを考案し、縮環構造構築の新たな方法論を開発した点で、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で合成研究を行った結果、エリスラビンのラセミ合成ならびにβ-エリスロイジンのエナンチオ制御合成にそれぞれ初めて成功し、今後のエリスリナルカロイドに基づく医薬開発研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は薬学の有機合成研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			